

社会資本総合整備計画（市街地整備） 事後評価書

平成 31 年 3 月 28 日

計画の名称	土浦市における市街地再開発事業による中心市街地の交流拠点の形成			重点計画の該当	○
計画の期間	平成27年度 ~ 平成29年度 (3年間)	交付対象	土浦市		
計画の目標					

土浦市の中心市街地において、土地の合理的かつ健全な高度利用と都市機能の更新をするとともに、都市空間の回遊性や防火性の向上、更には公共施設の整備など、人々が集い、にぎわう環境の創出に向け、多世代が交流する拠点の形成を目指す。

計画の成果目標（定量的指標）

- ・中心市街地における歩行者通行者数を約2,520人（当初）から約2,630人（事業完了後）に増加

定量的指標の定義及び算定式

定量的指標の定義及び算定式	定量的指標の現況値及び目標値					備考						
	当初現況値	中間目標値	最終目標値									
	(当初)		(事業完了後)									
土浦駅北通り線における歩行者通行者数を測定する。	2,520人/日	-	2,630人/日									
全体事業費	合計 (A+B+C+D)	5,177 百万円	A	4,209 百万円	B	968 百万円	C	- 百万円	D	- 百万円	効果促進事業費の割合 C / (A + B + C + D)	0.0%

事後評価

○事後評価の実施体制、実施時期

事後評価の実施体制	事後評価の実施時期
	平成31年3月
土浦市において事後評価を実施	公表の方法
	土浦市ホームページにて公表

1. 交付対象事業の進捗状況

交付対象事業

A 基幹事業

番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (延長・面積等)	市町村名	事業実施期間（年度）					全体事業費 (百万円)	備考
									H27	H28	H29	H30	H31		
1-A-1	再開発	一般	土浦市	直接	土浦市	土浦駅前北地区第一種市街地再開発事業	公益施設, 業務施設等 A=0.8ha	土浦市						2,260	
1-A-2	再開発	一般	土浦市	直接	土浦市	防災・省エネまちづくり緊急促進事業 (土浦駅前北地区)	市街地再開発 A=0.8ha	土浦市						1,949	
合計													4,209		

B 関連社会資本整備事業

番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	要素となる事業名	事業内容 (延長・面積等)	市町村名	事業実施期間（年度）					全体事業費 (百万円)	備考
									H27	H28	H29	H30	H31		
1-B-1	街路	一般	土浦市	直接	土浦市	土浦駅西口広場整備事業	西口広場整備 A=9,800㎡	土浦市						311	
1-B-2	街路	一般	土浦市	直接	土浦市	土浦駅北通り線整備事業	土浦駅北通り線整備 L=80m, W=14m	土浦市						69	
1-B-3	道路	一般	土浦市	直接	土浦市	土浦駅西口ペDESTリアンデッキ整備事業	ペDESTリアンデッキ整備 L=100m, W=3.5m	土浦市						588	
合計													968		

番号	一体的に実施することにより期待される効果											備考
1-B-1	1-A-1施行地区に隣接する駅前広場を整備することで、1-A-1施行地区を含めた駅周辺地区における交通の利便性と安全性の向上を図る。											
1-B-2	1-A-1施行地区内外の土浦駅北通り線を一体的に整備することで、施設建築物利用者の動線を確認し、その利便性と安全性の向上を図る。											
1-B-3	1-A-1施行地区に接続するペDESTリアンデッキを一体的に整備することで、駅周辺地区の人の流れを円滑にし、その利便性と安全性の向上を図る。											

C 効果促進事業（該当なし）

番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	要素となる事業名	事業内容	市町村名 港湾・地区名	事業実施期間（年度）					全体事業費 (百万円)	備考
									H27	H28	H29	H30	H31		
合計													0		

番号	一体的に実施することにより期待される効果											備考

D 社会資本整備円滑化地籍整備事業（該当なし）															
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	要素となる事業名 （事業箇所）	事業内容 （面積等）	市町村名	事業実施期間（年度）					全体事業費 （百万円）	備考
									H27	H28	H29	H30	H31		
合計												0			
番号	一体的に実施することにより期待される効果											備考			

2. 事業効果の発現状況、目標値の達成状況

I 定量的指標に関連する 交付対象事業の効果の発現状況	<p>計画に位置づけられた全ての事業が完了したことにより、以下の効果を生み出した。</p> <p>○公益施設の整備による交流人口の増加 事業により整備された再開発ビル「アルカス土浦」の核施設である図書館・市民ギャラリーの合計来館者数は年間約650,000人となっており、土浦駅前の新たな交流拠点として、中心市街地における交流人口の増加に貢献している。</p> <p>○イベントの開催による賑わいの創出 再開発ビル「アルカス土浦」の共用スペースである屋外広場「プラザ」等において、市や民間事業者が主体となった各種イベントが開催されており、中心市街地のにぎわい創出、多世代の交流に貢献している。</p>										
II 定量的指標の達成状況	指標：中心市街地における歩行者通行者数の増加	最終目標値	2,630人/日	目標値と実績値に差が出た要因	全ての要素事業が完了し、中心市街地における都市機能の更新が図られたことにより、目標値を達成することができた。						
		最終実績値	2,666人/日								
III 定量的指標以外の交付対象事業の効果の発現状況 （必要に応じて記述）	<p>○公共施設の整備による交通利便性・安全性の向上 駅前広場の改修、都市計画道路の拡幅、ペDESTリアンデッキの新設等の公共施設整備が実施されたことにより、アクセス性の向上、自動車・自転車の走行快適性の向上、歩道整備や歩車分離に伴う歩行者の安全性確保等、駅周辺の交通利便性と安全性が向上した。</p>										

3. 特記事項（今後の方針等）

本整備計画において、土浦駅前北地区第一種市街地再開発事業及び関連する社会資本整備事業が完了し、これにより歩行者通行者数の増加等の効果を生み出し、中心市街地の交流拠点の形成という目標が達成された。今後は、市の玄関口である土浦駅前にふさわしい都市空間を保持していくとともに、完成した施設のイベント等への積極的な活用、周辺施設・関係団体等との連携を通じて交流拠点としての機能を強化し、併せて、土浦駅前から中心市街地全体への回遊性の向上を図ることで、中心市街地の更なる活性化を推進していく。

(参考図面) 市街地整備

計画の名称	土浦市における市街地再開発事業による中心市街地の交流拠点の形成		
計画の期間	平成27年度	～	平成29年度 (3年間)
交付団体	土浦市		

- 凡例
- 高速道路
 - 国道
 - - - 鉄道
 - 駅
 - IC



1-A-1 土浦駅前北地区第一種市街地再開発事業
1-A-2 防災・省エネまちづくり緊急促進事業



1-B-1 土浦駅西口広場整備事業
1-B-3 土浦駅西口ペDESTリアンデッキ整備事業



1-B-2 土浦駅北通り線整備事業